

経営比較分析表（令和5年度決算）

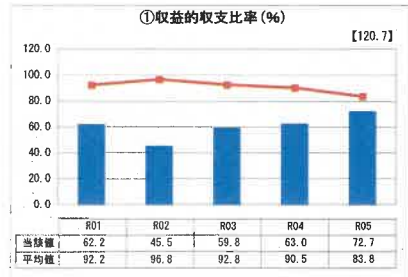
愛媛県西条市 本谷温泉館

業種名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A1B1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	1,503	20	

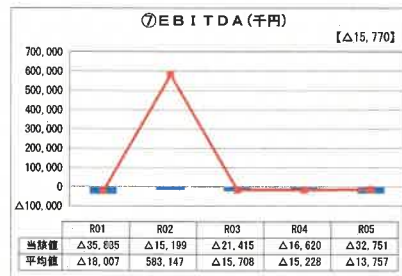
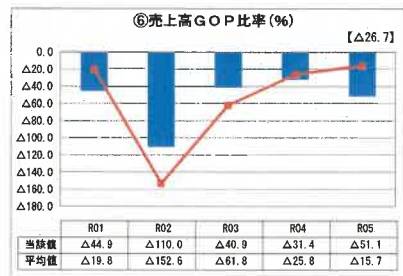
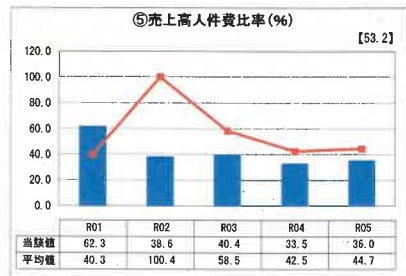
客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
-	利用料金制	-
パリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
有	100.0	有

グラフ凡例
■ 当該施設値(当数値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

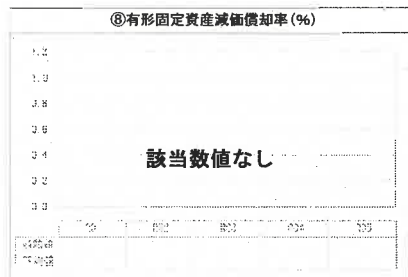
1. 収益等の状況



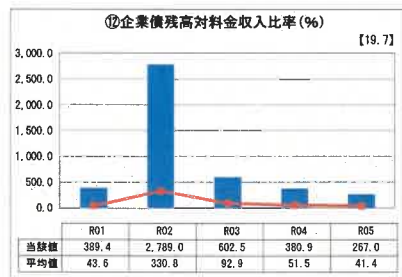
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑨施設の資産価値(千円)
182,812
⑩設備投資見込額(千円)
8,000



分析欄

- 収益等の状況について

①収益的収支比率、⑥売上高GOP比率の数値から、施設の収益性は回復傾向にあることが分かる。利用者数・利用料金収入の増加によるものと考えられる。

⑤売上高人件費比率については、指定管理者が変わった令和2年度以降平均値を下回る数値で推移しており、人件費の節約に努めている。

収益性は回復傾向にあるが、燃料費の高騰や施設の老朽化についてはよりいっそう注視し、経営改善に向けた取り組みを継続して実施していく必要がある。

③④⑤については、宿泊事業を休止しているため数値は0である。
- 資産等の状況について

平成28年度に大規模な改修を行い、⑫企業債残高対料金収入比率が平均値よりも高くなっている。

⑩設備投資見込額については、今後10年以内は大規模な設備投資を見込んでいないが、近年、配湯設備の老朽化による不具合・修繕が増加傾向にあるため、設備投資に充てる財源を確保していく必要がある。

また、改修時に更新できなかった設備について、故障により経営の支障となることがないように、注視していく必要がある。
- 利用の状況について

④施設と周辺地域の宿泊客数動向について、所在市町村の数値が大きく増加している。アフターコロナが定着したものと考えられる。

地域全体での宿泊需要の底上げを踏まえたうえで、今後の動向を注視する。

施設の運用上、日帰り入浴客の集客が課題であるため、市と指定管理者が一層協力して取り組んでいく必要がある。

全体総括
施設の収益性は昨年度より回復したが、安定的に施設を運営するため、利用料金収入の増加を軸とし、自主事業の更なる展開を行うなど、引き続き経営改善を進める必要がある。

施設の維持・継続及び安定経営を行うため、一般会計からの繰り入れを行うこととするが、経費の適正化を進めること等により、繰入金金の抑制にも努める。

平成18年度から指定管理者制度による管理運営を行っており、今後も民間活力の活用を基本としていくが、現状の事業規模や採算性を踏まえて、事業の存続、用途変更・廃止、民間企業への譲渡・売却など施設のあり方についても検討を進める必要がある。